

電動車いすで国会議事堂見学

広島頸損ネットワーク 大竹 保行

一生に一度は、国会議事堂を見学したいと思っていた。頸損連絡会全国総会に合わせて前泊での上京である。5月30日（土）両国のホテルを出て、都営地下鉄と東京メトロを乗り継いで、国会議事堂前で下車した。

とりあえず正面方面に行ったが、正門は閉まっていたので、外から来た証拠の写真をとっていると、見学を終えた小学生たちが出てきた。

インターネットで予約は出来たが、していない。ダメもとで衛視の方に「見学できますか？」と聞くと「裏側の衆議院の事務所に行ってみて下さい。10：30からの見学がありますから」と言われたので大急ぎで、来た道を逆戻りして事務所に向かった。途中、テレビでお馴染みの首相官邸が見えた。

ギリギリ間に合ったようだ。受付の用紙に記入しているうちに最後のグループは出発していった。私と介助者は2名だけに衛視の方が案内してくれるようだ。

国会議事堂が完成したのは、昭和11年である。建築当時のクラシックなエレベーターと近年増された新しいエレベーターを乗り継ぎながらの移動である。

最初は3階に上がり衆議院本会議場を傍聴席から見た。約15分の説明が流れる。



衆議院本会議場

ここで一般の見学者約300名と合流したものの、後は別行動である。

クラシック・エレベーターで2階に降りて、天皇陛下控えの間や皇族控えの間を見学した。同階には、総理大臣控室や各政党の控室もあるが内部は非公開だ。

最後は最も見たかった一階だ。衆議員の玄関にある尾崎幸雄氏と三木武夫氏の胸像を見た後、正面玄関に行った。中央の三角形になっている屋根の真下である。

天井は高く、素晴らしい装飾が施してある。法隆寺の五重の塔がすっぽり入る大きさらしい。部屋の三隅には、伊藤博文公、大隈重信公、板垣退助公の威厳のある銅像が建っている。残りの1隅は台座だけが設置してある。

私見だが、今後この台座に立っている政治家は出てきそうにないような気がする。

内部の見学を終え、中庭を歩いて正面にでた。各都道府県から送られた樹木が植樹してある。

見学の証拠写真を撮って、約1時間の見学は終了した。



国会議事堂前にて記念撮影

大満足の見学であった。衛視の方も良い人で丁寧に説明して下さったし、対面なので質問も色々出来て良かった。皆さんも一度は行かれてみてはどうでしょうか？